

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師
専門分野Ⅱ	精神看護学概論	1	30	1年次	10月	市場美織
<b>授業概要</b>						
<p>現代社会は急激な変化を遂げており、様々な心の問題が引き起こされている。そのような社会に対応できるように、精神看護の目的と看護師に求められている役割を理解させ、心の健康保持増進の支援ができる基礎的能力を養うことをねらいとする。具体的には、心の健康、心の健康に影響を及ぼす要因。心の健康保持増進における看護師の役割、地域における精神保健活動の展開、精神保健、リエゾン精神看護の役割について学ぶ。</p>						
<b>科目目標</b>						
<p>精神看護の目的と、心の健康維持における看護師の役割を理解し、地域における精神保健活動の展開について学ぶ。</p>						
<b>使用教材</b>						
<p>テキスト：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎，医学書院  系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の展開，医学書院</p> <p>参考文献等：精神保健医療福祉白書編集委員会（編集），精神保健医療福祉白書 2018/2019  地域社会での共生に向けて，中央法規  障害者白書，内閣府</p>						
<b>評価</b>						
筆記試験						
<b>授業計画</b>						
時間・回数	授業内容					方法
2時間・1回	1.精神保健の考え方 1) 精神看護学で何を学ぶのか (1)人と人との関係性 (2)精神看護学の基本的な考え方 2) 精神の健康の概念 (1)精神の健康とは（精神の健康の定義） (2)精神保健における3つの予防概念（精神障害の一次予防、二次予防、三次予防） 3) 精神障害のとらえ方 (1)「精神疾患」と「精神障害」 (2)精神障害者の法的定義					講義
4時間・2回	2.心の機能と発達 1) 人格の発達 (1)人格 (2)気質 2) ライフサイクルとアイデンティティ（精神と情緒の発達） 3) 自我の構造、自我の発達段階（自我の機能） 4) 不安と防御：自我の防衛機制 5) 無意識と精神分析：フロイトの精神力動理論（精神力動） 6) 転移・逆転移（転移感情）					講義

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師	
専門分野Ⅱ	精神看護学概論	1	30	1年次	10月	市場美織	
時間・回数	授業内容					方法	
4時間・2回	3.ストレスと健康の危機 1) 精神保健における危機という捉え方(危機の概念) 2) 危機への対処(コーピング)(危機の予防) 3) 心的外傷が精神の健康に及ぼす影響 (1)心的外傷(トラウマ体験)と生存者(サバイバー)の心理 (2)日常生活の中の心的外傷体験が人格に及ぼす影響 (3)喪失と悲嘆 4) レジリエンスの考え方						講義
8時間・4回	4.発達と心の健康 1) 乳児期の特徴と心の健康 2) 幼児期の特徴と心の健康 3) 学童期の特徴と心の健康 4) 青年期の特徴と心の健康 5) 成人前期の特徴と心の健康 6) 成人後期の特徴と心の健康 7) 老年期の特徴と心の健康						講義 演習
6時間・3回	5.現代社会と心の健康 1) 地域社会と心の健康 2) 学校における精神保健と精神看護 (1)学校という場とメンタルヘルス (2)学校におけるメンタルヘルスの問題と社会的取り組み 3) 職場における精神保健と精神看護 (1)労働者の心の健康の現状 (2)メンタルヘルス対策と職場復帰支援制度						講義 演習
4時間・2回	6.リエゾン精神看護、災害時地域保健活動 1) リエゾン精神看護とは 2) リエゾン精神看護の歴史 3) リエゾンナースの役割 4) リエゾンナースの活動の実際 5) 災害時の精神保健活動 (1)災害時の精神保健に関する初期対応 (2)災害時の精神障害者への治療継続						講義
1時間・1回	7.精神保健福祉活動 1) 精神保健の概念 2) 精神保健福祉の歴史 3) 精神保健福祉法と医療及び保護						講義
1時間・1回	筆記試験						
備考 ○授業に関連する内容は新聞や参考文献、雑誌等を活用しトピックスの概要を把握しておく。 ○グループワークでは、各自積極的に情報収集し自分の意見を発表し、他者の意見を取り入れながら、考えを深めて欲しい。							